

共にしあわせ産みだす日本共産党

市議団ニュース

No 1814

2016年9月25日

日本共産党根室市議団

根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

貴重な埋蔵文化「北構」がタシヨムン市へ寄贈される

北構保男氏が所蔵する「埋蔵文化遺産」の収蔵品がこの程、根室市に寄贈されました。同氏は中学時代から埋蔵文化の発掘調査に携わり、根室港沖の弁天島等で「オホーツク文化」等の調査を続けてきました。その大変貴重な埋蔵品（数万点）は、北海道はもちろん全国の博物館が、重要な文化財として注目しているものが数多く所蔵されており、根室市にとって「最重要」の文化財となるものです。

オホーツク文化とは

五世紀頃になると日本列島（特に北海道）に住んでいた人たちは違った文化を持つ人びとがサハリンから北海道のオホーツク海沿岸にやってきます。この人たちの文化を「オホーツク文化」とよんでいます。

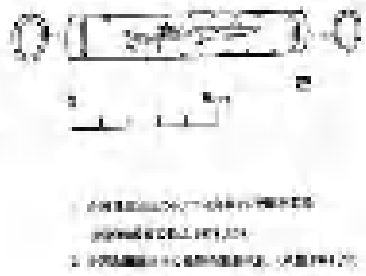
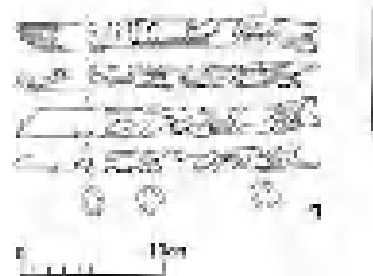
このオホーツク文化は、日本海沿岸にも広がったとされ、道南の奥尻島でもその痕跡が残され

ているそうです。

しかし、その多くは主にオホーツク沿岸にあります。根室では弁天島や温根元でも遺跡が発見されています。その遺跡が主に沿岸地帯で残されており、内陸部では発見されていません。このことからこの人

鳥管骨製針入れ

弁天島から発掘された



されたもので特に貴重なものの一つが、上の図右側の「鳥管骨製針入れ」です。網走市の道立民族博物館には、この文化を代表する文化財としてこの針入れのレプリカが展示されています。（もちろん根室市には本物が寄贈）

戦争法1年・たたかいはらに...

また、「北構コレクション」の中のオンネモト貝塚から発掘された「牙製婦人像」は、大陸からの影響を受けたとされるものの一つです。高さが6.5cm、頭部と背面の下部が欠損しているがスカートのようなものをはいている姿から、大陸の文化とのつながりの可能性があるとされています。また、「ある説」では、手を合わせた姿が仏教文化の影響も受けているとも言われるもの。5世紀頃に突如として現れ、謎の多い「オホーツク人」がアムール川周辺、サハリン、オホーツク海沿岸さらには千島列島などの広大な地域で活動していたらうことを裏付ける貴重な文化遺産が「北構コレクション」です。

安倍政権による戦争法（安保関連法）の強行から1年目となった19日、「戦争法絶対廃止に」と全国各地で集会、デモや街頭宣伝（スタンディング・アピール）などを行いました。国会周辺はあ

ターで「戦争させない・九条壊すな総がかり行動根室実行委員会」がアピール行動（左端の写真）。久保田陽・佐藤巧（九条の会世話人）、神田雄一（九条の会事務局）、坂本勇治（根労連）、鈴木一彦（共産党根室市委員会）神忠志（九条の会事務局）の各氏がそれぞれ訴えを行いました。最後に、橋本竜一氏（九条の会事務局）が安倍政権は、国民にとって「安倍政治すな」「戦争法廃止」とシュプレヒコールを行い、市民にアピールしました。

「南スーダンの危険性」「市民運動で安倍政権を包囲」などと次々と発言。「野党共闘」今年は本気で共闘を」との声が会場に大きくひろがりました。

根室では街頭宣伝

根室市では、19日が「北方領土歩こう会」のため、17日午後1時から西浜ショッピングセン

